

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No.	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費			実施状況	事業の効果	
					総事業費	交付金充 当額	起債額			その他
1	必需物品供給事業	医療・福祉従事者が安心して働ける体制を整備するため、町内医療機関、福祉施設に不織布マスクを配布する。	R2.4	R2.5	5,500,000	165,000		5,335,000	不織布マスク100,000枚購入し、医療機関・福祉施設に配布した。	マスクが品薄の時期に不織布マスクを配布することにより、医療・福祉従事者が安心して働ける体制の整備が図れた。
2	必需物品供給事業	全町民に対してマスクを配布し、感染拡大防止に努める。	R2.4	R2.5	6,037,242	4,547,033		1,490,209	不織布マスク67,840枚購入し、全町民に発送した。	マスクが品薄の時期に不織布マスクを配布することにより、不安の軽減が図れた。
3	新型コロナウイルス対策特別資金利子補給金	新型コロナウイルス対策特別資金を利用する中小企業者に対し、利子補給金を支給し、雇用の維持と事業の継続を支援する。	R2.4	R3.3	1,467,645	1,467,645			申請のあった2事業者に対して、利子補給金を交付した。	金融の円滑化をもって、事業活動に影響を受けた事業者に対し経営の安定及び企業の発展の支援が図れた。
4	ふるさとを遠くで見守る応援事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出等の自粛要請とうによる支援対策事業として、親元を離れて暮らす高校・大学生世代(社会人等も含む)の方を対象として、檜葉町産の産品を応援品として送付する。	R2.6	R3.3	473,330	473,330			檜葉町産米、檜葉町産柚子を活用したハンドソープ、檜葉町産いもけんぴ、檜葉町産鮭加工品を購入し、のべ89件発送した。	町内農業生産の支援と地域経済の活性化としてふるさと檜葉町の親元を離れた学生等の支援として事業を実施し、生産者支援や地域経済の活性化が図れた。
5	地元産材活用支援事業	道の駅ならはの物産館で町内産農産物を配布し、地元農産物の消費拡大を図ることで生産農家を支援する。	R2.6	R3.3	1,588,723	1,588,723			道の駅ならは物産館にて来場者約300名に町内産甘藷を活用した焼き芋や町内小学校等(こども園、小学校、中学校)245名に地元産品の配布を実施した。	地元産品の消費拡大による生産者の支援及び地産地消への取り組みが図れた。
6	インドア花いっぱい応援事業	需要低下による価格低下により厳しい状況にある町内の花卉生産農家から生産した花きを購入し、町内商工業事業者へ提供を行った。	R2.6	R3.3	3,170,777	3,170,777			需要低下による価格低下によって厳しい状況であった町内の花卉生産農家から生産した花き(19,997本)を購入し、町内商工業事業者へ毎月各10本程度の花束を配布した。	自粛要請等により花卉の需要が激減する中、生産者の支援が図れた。
7	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	家庭での通信環境が整備されていない児童生徒へ、オンライン授業が受講できるよう整備し、学びの場を確保する。	R2.4	R2.10	21,780	8,000		13,780	ウェブカメラ4台を購入し、家庭での通信環境が整備されていない児童生徒へ、オンライン授業を受講できるよう整備した。	学校でのオンライン授業及び、休校や感染症感染に伴う自宅でのリモート授業を円滑に進めるための環境整備が図れた。
8	防災活動支援事業	町内避難所の衛生環境を保つため、防災資機材等を購入する。	R2.6	R2.8	1,608,445	1,608,445			避難所用簡易ベッド100床、パーテーション100人分、サーキュレーター4台等を避難所用として購入した。	町内避難所の新型コロナウイルス感染症対策及び衛生環境を保つための整備が図れた。

No.	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費			実施状況	事業の 効果
					交付金充 当額	起債額	その他		
9	分散執務環境整備事業	テレビ会議を円滑に行うため、テレビ会議に係る周辺機器とネット環境を整備する。	R2.6	R3.3	437,580	437,580		テレビ会議に係る周辺機器(テレビ会議用スピーカー1台、テレビ会議用マイク2台、テレビ会議用カメラ1台、回線工事費用)を整備した。	オンライン会議を積極的に行い、感染拡大防止を図れた。
10	檜葉町議会配信システム整備事業	檜葉町議会の傍聴による新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、WEB上で会議を配信するシステムを構築する。	R2.8	R2.12	2,860,000	2,860,000		檜葉町議会定例会(年4回)をWEB(youtube)でストリーミング配信するためのシステムを構築した。	議会中継をWEB(youtube)でストリーミング配信することにより、傍聴者が感染拡大防止を図りながら、議会に関心を持てた。
11	サーモカメラ購入事業	公共施設である「道の駅ならば」「天神岬スポーツ公園(サイクリングターミナル)」「ならばスカイアリーナ」「みんなの交流館ならばCANvas」及び役場庁舎において、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るため、サーモカメラを整備する。	R2.10	R3.1	3,942,950	3,942,950		サーモカメラ8台を公共施設5施設に整備した。	発熱者を事前確認することにより、感染拡大防止を図れた。
12	宿泊施設網戸設置事業	町営の観光施設である「天神岬スポーツ公園(サイクリングターミナル、天神岬温泉しおかぜ荘)」において網戸を設置し、定期的な換気による新型コロナウイルス感染拡大を防止する。	R2.10	R3.3	1,595,000	1,595,000		町営の観光施設に網戸及びレールを27か所に設置した。	網戸を整備したことにより、定期的な換気を行うことができ、感染拡大防止を図れた。
13	観光施設券売機キャッシュレス事業	町営の観光施設である「道の駅ならば」において、キャッシュレス機器を整備し、施設利用者との直接的な現金受け渡しをなくすことで新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。	R2.10	R2.12	536,800	536,800		町内の観光施設にキャッシュレス決済機器を整備した。	施設利用者との直接的な現金受け渡しを減少させることで、感染拡大防止を図れた。
14	温泉施設利用促進事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により客足が減少している町営温泉施設において、入浴券を町民に配布し利用促進を図る。	R2.10	R2.11	4,246,034	4,246,034		町営温泉施設で利用できる無料入浴券を町民6,778人に一人当たり2枚を配布し、5,549枚が使用された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により客足が減少している温泉施設の利用促進が図れた。
15	図書館パワーアップ事業	町立図書館において蔵書を増やすことにより、有意義な在宅時間、外出抑制につなげることを目的とする。	R2.10	R3.3	994,070	994,070		町立図書館において532冊の蔵書を増やした。	蔵書を増やすことにより、有意義な在宅時間、外出抑制に繋がった。
16	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)学校再開に向け、感染症対策に必要な物品を支給する。	R2.10	R3.3	2,672,086	1,336,000	1,336,086	小中学校感染症対策として、基本的予防に必要なマスク・手指消毒液及び授業中に先生方が使用するフェイスシールド等の消耗品及び、休校及び、感染症感染による生徒の学校休暇時に活用するiPadやルーター等のモバイル機器を購入した。	モバイル機器等の導入により、ウィズコロナの中で休校や生徒の休暇中でもリモート授業を行うことが出来た。また、マスクや手指消毒液が品薄の状態の時に学校に在庫があることにより、安心して学校運営を行うことが出来た。
17	公共施設網戸整備事業	公共施設の換気促進のため、網戸の設置及び改修を行う。	R2.10	R3.3	3,270,300	3,270,300		集会所23か所及び役場庁舎へ網戸の設置(改修を含む)を実施した。	定期的な換気を行うことにより、感染拡大防止を図れた。

No.	交付対象事業の名称	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費			実施状況	事業の 効果
					交付金充 当額	起債額	その他		
18	インターネット環境整備事業	町営の観光施設である「天神岬スポーツ公園(ロッジ、コテージ、天神岬温泉しおかぜ荘)」において、テレワークやWEB会議等ができる環境を整備(インターネット回線)し、観光利用以外の利用を促進する。	R2.10	R3.3	1,295,800	1,295,800		町内の観光施設1施設にインターネット環境を整備した。	インターネット環境を整備することによりテレワークやWEB会議等が出来る環境を整備し、ウィズコロナの中で観光利用以外の利用促進を図れた。
19	新型コロナウイルス感染症等情報発信機能構築・運営事業	新型コロナウイルス感染症や自然災害の情報等を広く速やかにより効果的に町民に周知するため、町HP改修及びアプリの構築・運営を行う。	R2.9	R3.3	2,911,000	2,911,000		町ホームページの改修及びアプリの構築・運営を実施した。	新型コロナウイルス感染症等の情報を広く速やかに発信することにより、感染拡大防止を図れた。
20	分散・リモート執務環境整備事業	3密回避のため、役場庁舎における分散勤務及びリモートワークに必要な備品を購入する。	R2.9	R3.3	3,362,920	3,362,920		ノートパソコン13台、タブレット2台を整備した。	役場庁舎における分散勤務及びリモート会議に必要な環境整備を実施し、庁舎内の感染拡大防止を図り役場機能を維持できた。
21	新しい交通環境整備による観光促進事業	新しい生活様式を踏まえた交通手段として、シェアサイクルを整備し、観光促進を図る。	R2.9	R3.3	6,038,000	6,038,000		シェアサイクル20台を整備し、町内5箇所に配備した。	ウィズコロナの中、新しい生活様式を踏まえた交通手段として、シェアサイクルを整備することにより、観光促進を図れた。
22	季節性インフルエンザワクチン接種費用助成事業	季節性インフルエンザに対する抗体を獲得することにより、住民が季節性インフルエンザへの罹患もしくは重症化を防ぐことと、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を防ぐことで、医療機関や社会生活に混乱が生じることを未然に抑制できることを目的とする。	R2.10	R3.1	11,252,014	1,037,000	10,215,014	インフルエンザワクチン接種3,757件の助成を実施した。	季節性インフルエンザに対する抗体を獲得することにより、新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぎ、医療機関や社会生活における影響の抑制を図れた。
23	臨時特別出産祝い金事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯支援として、国の特別定額給付金の対象外となった新生児に対し、臨時特別の出産祝い金を支給する。	R2.10	R3.4以降	3,100,000	3,100,000		臨時特別出産祝い金を31名に給付した。	国の特別定額給付金対象外となった新生児の保護者へ給付することにより、子育て世帯の負担軽減が図れた。
24	地域経済活性化緊急対策事業	町内での経済循環を図り新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている町内事業者を支援するため、町民を対象にプレミアム付商品券(プレミアム率50%)を発行する。	R3.3	R3.4以降	89,066,593	89,066,593		プレミアム率50%付商品券を16,000冊販売した。	町内の経済循環を促進し町内事業者を支援、また、町民の生活を支援し、地域経済の活性化に寄与した。
合 計					157,449,089	139,059,000		18,390,089	